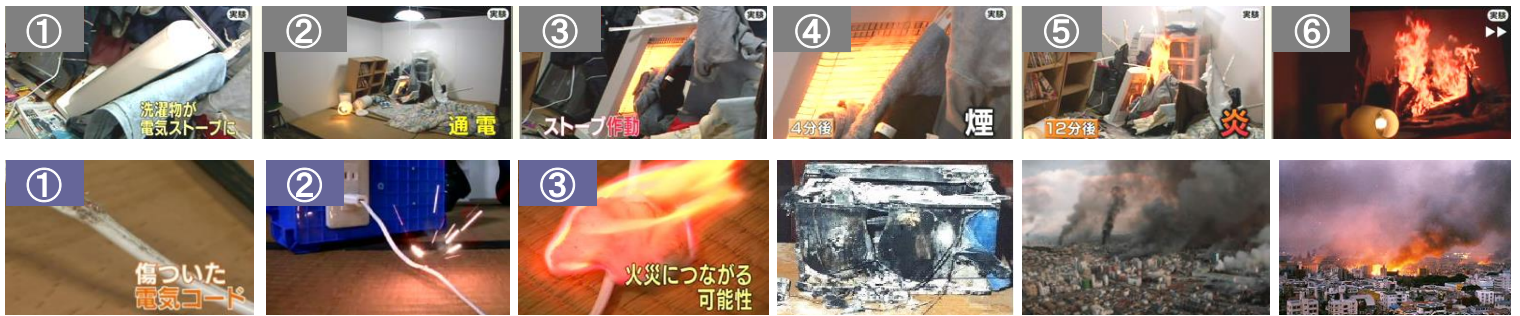


今回のAdvance通信「暮らしの安心かわらばん」は「**通電火災**」の恐さについてお知らせします。

実は「通電火災」をご存知の方はとても少ないのが現状です。しかし阪神大震災や東日本大震災で、発生原因が特定できた火災のうち「**6割強**」がこの通電火災によるものでした。通電火災とは、地震により停電が発生した後、電気が復旧し電化製品が再び作動した際に、「電気ストーブ」や「傷ついた電気コード」などから起こる大変恐い火災のことです。

大変恐ろしい「通電火災」が起こる原因とは...

通電火災の原因は、電気の復旧時に再び作動した電気ストーブに可燃物が接触して火災が発生する場合や転倒した家具により傷ついた電気コードから発火する場合、その他倒れた水槽のむき出しになったヒーターや白熱灯から火災が発生する場合などがあります。



「感震ブレーカー」で恐ろしい通電火災を防ぎましょう!

地震が起こった際の通電火災は、分電盤のブレーカーのスイッチをオフにすれば出火を防ぐことができます。しかし地震際は、屋外に脱出することで精いっぱい余裕がない場合や、外出していてブレーカーをオフにすることが出来ない場合など、「感震ブレーカー(通電火災防止装置)」を設置しておくことで、地震の揺れを感知して自動的にブレーカーをオフにして通電を遮断してくれます。

感震ブレーカーは、震度5以上(震度5、6、7の三段階セット可)で自動的にブレーカーを遮断します。誰でも簡単に設置出来る「簡易タイプ」から「工事を伴うタイプ」まであり、安価なものも2,000円程度ものから5~8万円(工事費含)のものまであります。簡易タイプはホームセンターやインターネット通販で簡単に購入することができます。

[簡易タイプ]

[簡易タイプ]

[簡易タイプ]

[工事タイプ]

震度5以上の揺れで玉が落下しブレーカーを自動でオフにします。
(工事不要タイプ)
2,000円程度

震度5以上の地震を感知しバネの復元力でブレーカーを落とします。
(工事不要タイプ)
4,000円程度

震度5以上の揺れを親機が感知し無線で子機に通知し電源を遮断。
(工事不要タイプ)
12,000円程度

震度5以上の揺れを感知すると、3分間ブザーが鳴った後、ブレーカーを自動で遮断する。
(工事取付タイプ)
5~8万円程度

大震災では初期消火が重要!そこで簡単・便利な投げる消火器を紹介します。

大震災では消防車を呼んでもすぐには来ないと覚悟してください。その時最も重要になるのが初期消火です。しかし緊急時に焦って消火器を使えないということもあります。そこで役に立つのが簡単で便利な投げる消火器です。これは女性でも老人でも簡単に扱え、5,000円前後で販売されていますので、ぜひ一家に1つ備えておいてください。

